

まこい補少

筆 慶永 上司 当別寺大東15世第2

第60号

発行

生駒警察署

少年補導員協会

平成25年

1月

今年こそ、子どもたちが夢と希望を持てる街づくりを

生駒警察署

少年補導員協会

会長 有山 豊茂



平成二十五年の新春を迎え、お祝いを申し上げます。皆様、ご健勝にて新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。また、日頃から本会に対しまして格別のお力添えをいただき厚く御礼申し上げますとともに、本年も皆様方のご理解とご協力をよりしくお願い申し上げます。

県内では、平成十八年に「奈良県少年補導に関する条例」が施行されてから七年が経過し、年々、不良行為少年は減少傾向になっており、これもひとえに、警察・関係団体の皆様方のご努力のお陰と心より感謝い

たしております。犯罪のない安全な環境の中で、平穩に生活が出来る社会の実現は私たちの共通の願いであります。

さて、ご承知の通り昨年選ばれた「今年の漢字」は「金」でした。九百三十二年ぶりに全国的に観測された金環日食・山中伸弥京都大学教授によるノーベル医学学生理学賞の受賞・ロンドンオリンピックで日本が獲得した金メダルは史上最多、まさに、ゴールドメダルラッシュ、経済的な金、お金の事もあり「今年の漢字」は「金」に決まった訳でしょうが、この殺伐とした不安定な時代、「いじめ」・虐待・「自殺」など、毎日のようにニュースに取り上げられていきます。特に昨年は「麻薬」・「ドラッグ」・「大麻」など薬物に関する事件が多かった様に思われます。そんな中でゴールドメダル

ラッシュに象徴される「金字塔」・明るい「夢と希望」が持てるニュースは私たちに素晴らしい感動を与えてくれました。

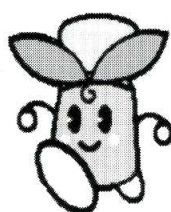
特に、ロンドンオリンピックでの日本選手の活躍は印象に残りました。全国の少年たちに「夢と希望」そして「感動」、何物にも代えがたい大切なものを与えてくれた様に思います。ひとつの事に打ち込む姿、「一生懸命」言い換えれば、「一所懸命（一所、一つの事）」に一心不乱に取り組む、今、我々が忘れかけていたことかもしれません。

夢を持つのが難しい時代かもしれませんが、未来ある子どもたちには「夢と希望」を心に抱き強く生きていくって欲しいと願っております。そのためには、我々大人が姿勢を正して子どもたちに接していかなければなりません。「人としての善悪」をしつかりと自覚することが、明日を切り開く道筋になるのではないのでしょうか。

各地域の通学路で活動されている安全見守り隊関係

者の方々、特にこの寒い時期の早朝活動には頭が下がる思いです。子どもたちは大きな声で「おはようございます」と朝の挨拶をかわし、大人のかたも笑顔で答える風景はいつまでも続いて欲しいものです。

社会は人から人へと引き継がれ守られてきました。これからも我々は「安心・安全」な街・社会を目指し、声かけや見守り活動が続けてまいります。どうかご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



空き巣 車上・部品ねらい 振り込め詐欺が多発！ ご注意下さい。

新年を迎えて

生駒警察署長

蜂谷 維佐夫



昨年は皆様方の壮大な
ご支援を賜りまして誠に
ありがとうございました。

旧年中は、街頭補導活動
をはじめとして少年健全育
成奈良県カンファレンス及
び地域安全運動奈良県民大
会等への参加、各地域で実
施された夏祭りでの補導見
守り活動、女性部紙芝居に
よる保育園等に対する被害
防止教室等、数々の行事や
地域安全活動に取り組んで
いただくなど、少年補導員
協会の皆様方の少年の健全
育成に対する深いご理解と
多大なご尽力につきまして、
厚く御礼申し上げますと
もに、本年も引き続きご協
力・ご支援を賜りますよう

お願い申し上げます。

平成二十三年から、治安

が良かったと言われる昭和
四十年代前半の治安水準に
五力年計画で回帰させるた
めの目標を設定し諸対策を
実施した結果、昨年県下の
刑法犯認知件数は一二、一
七一件と対前年比でマイナ
ス一、一五四件（マイナス
八・七％）減少させること
ができ、当署管内におきま
しても、刑法犯認知件数は
五九八件と対前年比でマイ
ナス一七七件（マイナス二
二・八％）減少となったと
ころであります。しかしな
がら、県民の体感治安に影
響を及ぼす住宅対象侵入窃
盗やひったくり、あるいは、
被害者の大半を高齢者が占
める振り込め詐欺の発生も
後を絶たない等、市民目線
から見ると、市民が肌で感
じる治安の回復には至って
いない現状にあります。

そこで、本年も犯罪のな
い『日本一安全で安心して

暮らせる奈良の実現』を奈
良県警察の最重要課題と位
置づけ、また市民の皆様
に、真に治安の回復を実感して
いただけるよう、引き続き
市民の目線に立つて諸対策
を一層強力に推進してい
ます。

特に最近では、声かけ事
案やつきまとい事案、児童
虐待、いじめ問題等、子ど
もや女性が被害に遭う事案
の問題などもあり、地域ぐ
るみで活動していただいて
いる少年補導員協会の皆様
方の役割はますます大きく
なっております。

少年の健全育成活動をは
じめ皆様方の活動が、「地域
の安全は地域で守る」とい
う活動につながり、安全・
安心なまちづくりを実現す
るものと確信しております。
最後に安全、安心の生駒
市を実現するため、皆様方
の更なるご理解とご協力を
お願い申し上げます、少年補導
員協会の発展をお祈りいた
します。

着任にあたって

生駒警察署副署長

松本 康生



昨年三月二十六日付けで、
生駒警察署副署長に着任い
たしました松本康生でござ
います。

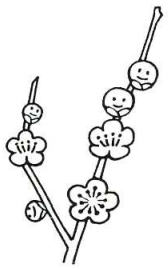
私は、昭和五十六年に警
察官を拝命し、三十年余り
が経過しましたが、生活安
全部門での勤務は、平成二
十一年四月から約一年、少
年課次席として勤務したの
が初めてのことであり、恥
ずかしながら、それまでは、
各警察署に少年補導員協会
があるということは知って
おりましたが、具体的に、
どのような活動をされてい
るのかまで詳しく知らなか
ったのが実際のところでした。
しかし、少年課当時、
各警察署からの少年補導員
の皆様方の活動内容を記載

した申報を目にし、その活
動内容を知るにつれ、頭の下
がる思いをしたのを記憶
しております。特に当時の
少年課の担当勤務員からも、
生駒警察署の少年補導員の
方は、県下の中でも特に熱
心に活動していただいていた
ことを聞いておりました。
そして、縁あって、生駒
警察署で勤務させていただきました
ようになり、役員会や補
導活動等に参加させていた
だき、その地道で熱心な活
動に、改めて敬服しており
ます。

言うまでもなく、少年は
日本の将来を担う宝であり
ます。今、少年犯罪は数的
には減少しているものの、
凶悪化、あるいは低年齢化
の傾向にあるとともに、少
年同士のいじめ問題に関し
ては、大きな社会問題とな
っているところでもあります。
また、少年が被害者となる
児童虐待や福祉犯罪も深刻
な問題となっております。

こうした情勢において、補導活動等における少年等に対する声かけ運動や被害防止教室など、少年補導員の皆様方の果たす役割は益々大きくなるものと思います。

生駒警察署においては、少年が明るくのびのびと暮らせる生駒、安心して暮らせる生駒を実現するため、署長以下署員が一丸となって各種活動に取り組んでいく所存でありますので、今後、皆様方の力強いご支援をお願い申し上げます。



生駒警察署生活安全課長

梶 祐吾



平成二十四年九月十四日付で、

生駒警察署生活安全課長として着任いたしました梶祐吾です。

少年補導員の皆さまには平素から少年の健全育成活動にご理解とご支援を賜りありがとうございます。

私は、生駒警察署に着任するまでは、警察本部の生活環境課で環境犯罪を捜査する捜査員として従事しておりました。

警察官を拝命して本年で勤続三十年となりますが、生駒警察署での勤務は初めてです。

さて、現在、生駒警察署では、「子どもを犯罪の被害者にも、加害者にもさせない」ための対策を講じております。

また少年に犯罪を行わせないための取り組みとして、非行防止教室や街頭補導活

動等を行なっております。

特に、少年補導員協会女性部の「紙芝居」による保育園児等に対する被害防止活動は、園児、保護者から非常に好評で実のあるものと思っております。

こうした生駒警察署少年補導員協会の皆様方の少年問題に対する思い入れや熱心な活動は、以前からも警察内あるいは、新聞報道等で承知しており、非常に心強く感じております。

今後、皆さんと共に少年の健全育成と非行防止活動を中心とした活動を行いいたいと思っておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



新会員ならびに各地区補導員の紹介

中地区地区

公門 茂樹



このたび生駒署中地区少年補導員になりました。以前より通学路の道幅が狭く危険なため、登校時の安全指導を地域の人たちと毎朝おこなっています。

また、びっくり通りの掲示板にも青少年が犯罪に巻き込まれないよう啓発ビラを掲示しております。

青少年を取り巻く環境は多岐に渡るため、学校や警察ほか関係団体と情報を共有し中地区少年補導員として地域に貢献したいと思っております。

生駒警察署少年補導員

《北地区》

有山 豊茂	鈴木 道子
福島 エリ子	岩谷 康雄
谷村 淳	久保 恭典
児島 眞光	藤堂 宏子
今井 秀美	中田 勝之
久保 左元	中谷 謙一
角 昌美	松下 康明
松本 喜昭	桐山 勝代

《中地区》

奥野 治司	小川 昌治
出垣 眞智子	秋山 恵子
鉄東 祖愛	寺田 勝昭
島岡 敏幸	野口 祥子
山本 義人	栗本 義男
中川 元二	澤村 章男
北畑 幸二	竹内 茂
藤井 褒實	西口由利子
公門 茂樹	

《南地区》

西岳 重員	藤尾 原司
奥山 喜男	瀧口 政則
小坂田留里子	池田 昌弘
若杉 紳一郎	上野 吉平
須堯 好子	

四十二名

少補女性部 ゆうゆう通信

平成 25 年

「ぞうきくん、どこに行ったか知ってる?」「悪い人に連れて行かれたよ!」——紙芝居とちゅうの、子どもたちとのやり取りです。2作の紙芝居の主人公たちは、どちらも「一人」でいたため誘拐されそうになります。成長とともに行動範囲が広がる子どもたちに、「一人でいること」の危険性を訴える活動を、女性部は紙芝居と「いかのおすしー人前」のパネルを通しておこなっています。

24年度は市内の保育園・幼稚園から多くの依頼を受け、精力的に活動しました。ノロウィルス流行のため日程変更もありましたが、好評の中、無事13回の啓発活動を終えることができました。「いかのおすしー人前」も子どもたちに浸透しているようで、わたしたちのダンスに合わせて楽しそうに踊ってくれます。また、角度を変えて啓発しようと、新たな作品づくりにチャレンジ中です。3作目もどうぞご期待ください。



「いかのおすしー人前」でお勉強



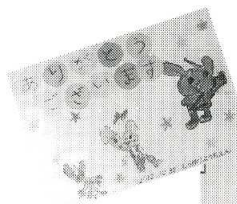
おまわりさんのおはなし

24 年度紙芝居活動報告

10 月 18 日	ひがし保育園
19 日	はな保育園
22 日	登美ヶ丘駅前ピュア保育園
23 日	学研まゆみ保育園
30 日	白百合幼稚園
11 月 8 日	いこま保育園
13 日	あいづ生駒保育園
21 日	鹿ノ台佐保保育園
12 月 4 日	小平尾保育園
13 日	あすかの保育園
20 日	中保育園
1 月 15 日	みなみ保育園
23 日	北倭保育園



みんな歌がだいすき!



元気な笑顔を守るため、今年もがんばります。

お問い合わせは 生駒警察署 生活安全課まで
74-0110